

小学校における交通環境学習の実践

—石川県金沢市と岐阜県御嵩町の継続実施に向けた取組み—

岡本 英晃:交通エコロジー・モビリティ財団

交通エコロジー・モビリティ財団では、交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の普及を目指し、交通環境学習に取り組む自治体に対し、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、拠点作りに取り組んでいる。

石川県金沢市

市内全小学校での交通環境学習の実施を目指し、交通政策担当部署が中心となり、平成19年度より取り組みを開始。平成21年度に交通環境学習プログラムを完成。

(1)導入版交通環境学習

市内全校を対象として実施されている自転車安全教室を活用して実施。学習DVDを作成し、各校で独自に実施

DVDによる事前学習

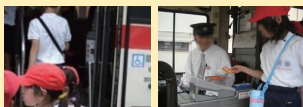
実際のバスで乗車実践

安全教室実施後

- ①バスの乗り方説明
- ②交通と環境問題との関係の説明 など



自転車安全教室を実施する公園まで実際のバスを活用し、事前学習で学習したバスの乗り方を実践



自転車安全教室実施者が、交通と環境に関するクイズや金沢のバスについてのクイズを実施



(2)発展版交通環境学習

「交通すごろく」、「バスとクルマの二酸化炭素の関係を調べよう」、「環境にやさしいクルマの使い方を考えよう」の3つのメインプログラムと、他の8つのプログラムの組み合わせで授業を行う。必要に応じて市が教材の貸し出しや出前講座を行う。

①交通すごろく

交通すごろくを通して、社会のことを考えたよりよい交通手段の選択方法を学ぶ



②バスとクルマの

二酸化炭素の関係を調べよう

二酸化炭素量や交通量を調べ、バスや自動車との二酸化炭素排出量の違いなどを学ぶ



③環境にやさしいクルマの使い方を考えよう

環境にやさしいクルマの使い方を考え、身近な地域の交通環境を踏まえながら、自分たちができる環境にやさしい移動を行うことを考える



岐阜県御嵩町

平成22年度から町内全小学校(3校)、平成23年度からは中学校への発展も目指し、教育委員会が中心となって平成20年度より取り組みを開始。平成21年度はモデル校1校で交通環境学習を実施。

モデル校での実施内容

1年生から6年生まで通じて学習するプログラムを実施

学年	学習教科	単元名(ねらい)
1年	生活	しげんとあそぼう! (自然とかがわることで、自然を身近に感じ、自然とのかかわりの楽しさを実感する)
2年	生活	どきどきわくわくまちたんけん ~わたしたちのまちをたんきえんしよう~ (まちの探検活動を通じて、歩くことの価値を実感し、人々と接する力、安全に生活する力を身につける)
3年	総合	見よう!聞こう!みたけの森しげんたんけん (自然探検を通じて、自然を守ることが環境問題につながっていることを学び、ポスターや新聞などの作成を通じて自分たちの考えを表現する力をつける)
4年	社会	きょう土に依わる願い ~ぼくらの電車いきいきプラン~ (まちの鉄道の敷設理由や先人達の願いを知るとともに、利用実態を調べるにより、鉄道の必要性を考える)
5年	社会	自動車を作る工業 ~御嵩からのエコ大作戦~ (地域での自動車の生産過程やエコカー誕生の努力や工夫を調べるにより、地球環境問題に対してできることを考え実践する)
6年	総合	日本のすばらしさを知ろう ~わたしたちの生活と交通・環境から(江戸・明治・現在のそれぞれの交通機関について調べ、まちの交通について考えることで、御嵩町の交通にかかわる課題をとらえる)



〈2年生〉
まちたんけんをする児童



〈4年生〉
制作した新聞を駅に展示



〈5年生〉
燃料電池自動車を試乗